

令和 3 年度 各分掌等の重点目標及び具体的目標

A:十分満足である B:ほぼ満足できる C:改善が必要である

分掌	重点目標	具体的取組事項	評価指標(到達したい状況・状態)	評価基準			達成値	反省及び次年度への課題等
総務部	防災教育の推進	防災意識の高揚を目指し、火災や地震など実際に即した避難訓練を実施する。	実際に即した避難訓練だったと答えた生徒・教職員の割合	A 90%	B 80%	C 80%未満	A	コロナ禍での実施で、避難経路や場所が限定され、難しさを感じた。生徒は落ち着いた避難行動ができており、継続した取組の成果だと感じている。また、訓練に併せて防災教育にも力を入れる必要がある。
	広報活動の充実	学校通信・学校新聞内容の充実、さくらメール発信とホームページの更新を積極的に行う。	学校通信・学校新聞の発行、メール配信、ホームページの更新が充分に行われたと答えた保護者・教職員の割合	A 95%	B 90%	C 90%未満	B	昨年以上にホームページの内容の充実を図り、更新も行うことができた。しかし、学科や部活動によって更新状況に差があるため、コロナ禍で学校行事が制限される部分を、補えるツールとして活用していきたい。
教務部	授業力の向上と基礎学力の育成	「翔陽スタンダード」の定着をより一層図ることで、全教職員の授業改善を目指す。	生徒による「授業アンケート」の項目「授業内容について」の平均点。	A 3.5点以上	B 3.0点以上	C 3.0点未満	B 3.46点	昨年度と比べ、学校全体の「翔陽スタンダード」を徹底させる雰囲気、下がっているかもしれない。次年度に向け改善策を検討したい。
	生徒募集の推進	中高連絡会、進路説明会、オープンスクールの充実	入学して実際にやってみたい、関心が強くなったと答えた中学生の割合。	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	B 85%	1回目が83%、2回目が86%で高い評価であった。結果として、出願者が1科で定員を超え、高く評価できる。次年度は、更に改善を加えたい。
生徒指導部	爽やかな挨拶が交わせるようになる	生徒会、風紀委員会、教職員を中心に、日頃から積極的に爽やかな挨拶を交わす。PTAと協力し、6月と10月にあいさつ運動を行う。	日頃から学校内・外で、爽やかな挨拶を交わしていると答えた生徒の割合と爽やかな挨拶を交わしていると答えた教職員の割合	A 97%以上	B 95%以上	C 95%未満	B 95.5%	学校内で挨拶をする生徒は多いが元気がなく、素っ気ない生徒が多く、「爽やかな挨拶」となると物足りない。次年度はPTAと協力し、全教職員であいさつ運動や日常生活場面を通して、自ら進んで爽やかな挨拶を示していきたい。
	社会に出ても通用する頭髪服装で学校生活を過ごす	検査内容と基準を理解する。定期的に頭髪・服装検査を実施し、事後指導を徹底する。全教職員で日常的に指導を行う。	検査内容と基準を理解した上で頭髪・服装規定を守っていると答えた生徒・保護者と、検査内容と基準を理解した上で日頃の指導ができたと答えた教員の割合と頭髪服装検査で再検査にならなかった生徒の割合	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	A 91.6%	風紀委員会により頭髪の基準を示すことができ、違反する生徒が減り、再指導もしやすくなった。次年度は各家庭での指導を期待して、保護者への周知をさらに進めていく。また、全教職員による日常指導を継続していきたい。
進路指導部	進路保障	求人情報・進学情報を迅速にクラスに伝達する。	進路情報が迅速に伝わったという教員・生徒の割合	A 90%	B 80%	C 80%未満	A	教員95.8%、生徒91.3% 教員の共通フォルダに、求人情報・指定校情報、訪問された企業や学校からの情報、および合否情報を迅速にアップすることができた。進路だよりを各学期に4回発行し情報を提供することができた。
		生徒が希望する受験先を確保する。	希望する企業・学校に内定・合格することが出来たという三年生の割合	A 100%	B 90%	C 90%未満	B	3年生94.2% 求人情報、指定校情報、入試方法など担任と連携して情報提供ができた。コロナ禍であるが、昨年度よりも多い求人票、また生徒の希望にそうよう新規の求人票もいただくことができた。

保健相談部	健康教育の推進	講演会の実施や保健通信を通じて、保健情報や健康情報を発信する。	保健・教育相談に関して、実態に即した情報が発信されている、学校は保健便りなどで感染症、健康診断、SC来校案内などの保健情報を提供していると答えた教職員の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A	教職員95.7%生徒94.8% 今後も実態に即した情報発信に努めていきたい。
	清掃活動の徹底	生徒保健委員会からの呼びかけもふまえ、時間いっぱい清掃することを徹底する。	掃除監督として時間いっぱい清掃指導を行っている、掃除時間を守って掃除していると答えた教職員・生徒の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A	教職員93.8%生徒96.0% 掃除に関する生徒保健委員会からの呼びかけはしたが、やはりコロナ中心になった。今後は清掃についての呼びかけも行っていきたい。
	相談活動の充実	校内での情報共有に努め、必要に応じて保護者・外部機関との連携をはかり、相談体制や支援体制を充実させる。	保健・教育相談に関して、実態に即した情報が発信されている、生徒の心や体の悩みについて応じてくれている、と答えた教職員・保護者の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	B	教職員95.7%保護者86.7% 情報共有の場を設けてきたが、支援が必要な生徒数も多く、また、支援の幅も広いので十分に対応できたとは言えない。CO会は定期的に行い、情報を共有した。
図書研修部	図書館の利用促進	図書館利用の促進のために、利用しやすい図書館を整備し、図書館だよりや新刊案内などの広報活動を充実させる。	図書館利用促進のための取り組みを行っている、と答えた生徒・教職員の割合	A 85%	B 80%	C 80%未満	A 教95.8% 生88.1%	今年度も引き続き、新刊図書、リクエスト図書の導入等により図書館の整備を進めてきた。また、図書館だよりや新刊案内、図書委員会の活動による広報活動も行ってきたが、より充実させていきたい。
	人権・同和教育HRの推進	生徒の成長段階やクラスの特徴に応じた指導案作成と研究授業を推進する。	学校は人権について考える機会を提供していると答えた生徒・教職員の割合	A 90%	B 80%	C 80%未満	A 教93.3% 生97.1%	HRについて、各学年に身につけさせたい資質や知識について取り上げ、実施できたが、HR前後の教職員研修の時間が十分に確保できなかった。新型コロナウイルス等の影響で校外の研修は縮小傾向にあるので、今後は校内研修の充実を図り、研修の内容・時期等を検討していきたい。
寮務部	規律ある寮生活を確立する。 1. 時間を守る 2. 整理・整頓をする	寮の生活時程に従って行動する中で清掃および片付けを丁寧に指導する。	寮生活において時間を守り、整理・整頓ができたと答えた生徒、およびその指導ができたと答えた教員の割合。	A 95%	B 90%	C 90%未満	B 93%	生徒および教員のアンケート結果では、時間と寮内のルールに関してはしっかりと守られていた。整理・整頓の点が少なくていなかった。この点に関してしっかりと指導の必要ではなかった。
事務部	生徒が安全・安心な環境で教育が受けられる環境整備	学校の施設設備等について、保守整備を図り、安全・安心な教育環境を提供する	学校の施設設備等について、保守整備が図られ、安全・安心な教育環境の中で授業が行われていると考える生徒・保護者の割合	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	A	デジタル化対応産業教育装置の整備が全国的に実施され、本校でも農場におけるインターネット環境整備や工業棟実習設備の新設・更新が進んだ。一方、老朽化した施設もまだ多く存在することから、日常的なメンテナンスが必要である。
農場部	魅力ある農業教育の実践	地域連携・貢献事業、校内連携活動を推進する	実施回数 40回	A 40回以上	B 35回以上	C 35回未満	A 95回以上	地域連携課題研究50回以上、 コンソーシアム30回以上 出前授業8回 農業クラブ・翔陽ファーム7回
	生徒の進路意識の向上	郷土を愛し、地域を支える生徒の育成	地元就職者率60%以上(A)、50%以上(B)、50%以下(C)	A 60%以上	B 50%以上	C 50%未満	A 69.4%	A科10名/17名(58.8%)、 G科(食品系列)4名/5名(80%)
		資格取得率の向上	各種検定等の資格取得者の割合が80%以上(A)、70%以上(B)、70%未満(C)	A 80%以上	B 70%以上	C 70%以下	B 71.9%	G1:100%、G2(食品):90%、 G3(食品):60% A1:71.4%、A2:48.7%、A3:61.5%

電子機械科	工業人として求められる人格形成を支援する	整理・整頓・清潔・清掃を意識し、安全で効率的な作業を実行できるとともに提出物の期限を守る生徒を育てる	①実習棟や教室等の状況及び整理・整頓・清潔・清掃に関するアンケート結果	A 85%以上	B 75%以上	C 75%未満	A 88.6%	実習や課題研究後の実習棟の片付け等は大体できているが、自分の靴やスリッパなどの管理やロッカーの整理整頓ができていない生徒もいる。今後も意識を高めていけるように継続的に指導していきたい。
			②期限内にレポート提出した生徒の割合	A 85%以上	B 75%以上	C 75%未満	A 92.1%	同じ生徒が毎回提出状況が悪かった。継続的に指導はしているが、まだまだ改善はしていない。「期限を守る」意識を高め、力を身につけていけるよう継続的な指導が必要。優先順位を考えさせ放課後等も使って指導している。
	学習意欲の向上	専門科目において基礎的な知識と技能の定着を図るとともに、資格取得に積極的に挑戦させ、多くの成果・成功を体験させ、学習意欲を向上させる。	資格検定の合格率および授業態度に関するアンケート結果	A 85%以上	B 75%以上	C 75%未満	資格:C 48.8% 授業:B 81.0%	放課後補習では部活動との兼ね合いもあるが、積極的に挑戦する生徒が増えている。受験に満足せず合格率も高まる状況を作っていきたい。授業態度は継続的な指導が必要である。
電気科	工業人としての心構えの育成	授業準備、服装、頭髪及びレポート等の提出期限を徹底する。	服装頭髪検査で規定が守れている生徒の割合	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A 94.0%	おおむね良好である。生徒指導部と風紀委員との話し合いで生徒たちの自主性が芽生え、結果的によい方向に向いていると思う。
			期限内にレポート提出した生徒の割合	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A 92.3%	期限内にレポート提出した生徒の割合 3年生 90.3% 2年生 90.6% 1年生 97.1% 平均 92.3% 1年生の提出状況が大変よい。
	進路意識の向上	将来を見据え、生徒が主体的に資格や学習に取り組むことができるように補習を実施する	資格、検定に向けて真剣に取り組んだ生徒の割合	A 85%以上	B 75%以上	C 74%未満	A 92.0%	第2種電気工事士の試験は例年通りにもどり、補習等も平常にもどし実施した。合格率は92%とよい結果が出た。資格取得に頑張っているという満足度は微弱ながら減少した。(91.8%⇒82.6%)
生物環境工学科	基礎学力の向上	個々の進路の実現のため、資格取得をはじめとする学習指導を充実する。	資格取得のための指導や個別指導、試験前の居残り学習や補習を行ったと答えた生徒の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	B 85.1%	実際に1つ以上資格取得をした生徒は60.5%であった。生徒自身の資格取得や学習に積極的に取り組んだと評価する生徒は85.1%であった。今後このギャップを縮めたい。
	基本的な生活習慣を身に付ける	挨拶や正しい言葉遣いができ、服装規定を守れるように指導する	校外外で挨拶をしている、服装規定を守っている、正しい言葉遣いをしていると答えた生徒の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A 94.7%	挨拶ができていると思う生徒は98% 頭髪、服装の規定を守っていると思う生徒98%、正しい言葉遣いができていると思う生徒88%
総合学科	社会で通用するマナーを身につけた生徒	集団や社会の一員として、モラルある言動や身だしなみがきちんとでき、挨拶や言葉遣いがしっかりできる。	正しい日常の服装・頭髪の基準が守られていたと答えた生徒の割合。	A 95%以上	B 90%以上	C 90%未満	A	生徒アンケートの結果、規準を守ることでできたと回答した生徒の割合は97.3%であった。(できた75.9%、おおむねできた21.4%、やれなかった0.9%、できなかった1.8%)
	専門知識や技能の向上を図り進路実現にチャレンジする生徒	生徒個々の能力、資質を十分に発揮させるとともに、これらを進路選択、人生設計に関連づけることができる態度を育成する。	資格、検定に2つ以上取得したと答えた生徒の割合。	A 80%以上	B 75%以上	C 75%未満	C	2つ以上取得した生徒は73.2%であった。(1年100%、2年70.0%、52.6%)初級程度の資格取得には積極的だが合格者をより上級試験への挑戦に誘うことが今後の課題である。

1 年 学 年 会	基本的な生活習慣を身につけ、 基礎的な人間力を育成する。 1. 時を守る 2. 場を清める 3. 礼を正す	1. 始業のチャイムは自席に着席した 状態で聞かせ、提出物の期限を守ら せる。	「始業チャイムを自席に着席して聞くことが できた」「提出物を期限を守って提出した」と 答えた生徒の割合。	A 95% 以上	B 80% 以上	C 80% 未 満	B 94.7%	概ね良好である。普段の様子を見ると、チャ イムが鳴る前に着席を促されてから行動する 生徒もいる。「言われなくてもできる」「自分で 判断できる」状態を目指して引き続き指導し ていく。
		2. 教室内の整理整頓、清掃にきち んと取り組むよう指導する。	「教室内の整理整頓、清掃にきちんと取り組ん だ」と答えた生徒及び「教室内の整理整頓、清 掃にきちんと取り組んでいた」と答えた教職員 の割合。	A 95% 以上	B 80% 以上	C 80% 未 満	B 90.3%	4Sを意識して行動した生徒の割合は、 S:90.9%、E:88.9%、A:92.0%、G:89.3% だった。教室内の整理整頓について、担任間で共通 認識をもって指導し、落ち着いた学習環境を つくることができた。
		3. 返事、挨拶、言葉遣いがしっか りできるよう指導する。	「返事、挨拶、言葉遣いがしっか りできた」と答 えた生徒及び教職員の割合。	A 95% 以上	B 80% 以上	C 80% 未 満	B 生徒92.6% 教職員 81.3%	アンケート結果では、生徒と教職員とで10ポ イント以上の差が見られた。「他者から見て どうか」という視点を持たせつつ、引き続き丁寧 に指導していく。
2 年 学 年 会	基本的な生活習慣の育成と、進 路目標を明確にさせる。	時間を守ること、服装頭髪を守ること、 挨拶を積極的に行うこと、掃除を 一生懸命することができるように 日々指導する。	日頃の服装・頭髪の基準が守られており、 挨拶・返事・言葉遣い、掃除への取り組みがし っかりとできていると答えた教職員・保護者の割 合。	A 95%	B 90%	C 80%	B 教職員 88.2% 保護者 85.5%	大きく服装頭髪が乱れている生徒はいない が、髪型、化粧などで指導対象となる生徒が 数名いる。学校の規則を守る大切さについて 今後も継続指導を行い、最終学年を迎えたい。
		進路実現のため、資格を積極的に取 得するように指導する。	1つ以上資格取得した生徒の割合。	A 95%	B 90%	C 80%	C 83%	工業科、総合学科の生徒はほとんどの専門 の資格を1つ以上取得している。生物環境工 学科は50%止まりだった。専門の資格が少 ないことも原因ではあるが、資格取得に向けた 指導が足りなかった。
3 年 学 年 部	進路目標実現のために、社 会人としての資質を身につ ける。 1 時間を守る 2 服装・頭髪・挨拶・返事・ 正しい言葉遣いに留意し、 社会のルールを遵守でき る。 3 主体的な態度を身につ ける	朝礼、授業開始時間や授業関係・進 路関係の提出物の期限を守るよう指 導する。	朝礼、授業開始時間が守られている。かつ、 提出物の期限が守られていると判断した教職員 の割合と、授業の開始時間が守られ、かつ提 出物の期限を守っていると答えた生徒の割合	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未 満	A (平均値) 教職員 92.9%A 生徒 92.8%A	平均ではこの数字だが、提出物に関しては 特定の生徒が繰り返し提出できない状況も 見られた。生徒評価はAではあるが、この特 定の一部生徒に対して指導を続けてきた。
		日常の服装・頭髪の基準を守り、 挨拶や言葉遣いがしっか りできるよう指導する。	日常の服装・頭髪の基準が守られており、 挨拶・返事・言葉遣いがしっか りできていると答 えた教職員・保護者の割合。	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未 満	B (平均値) 教職員 80.4%B 保護者 88.5%B	大多数の生徒はしっかりやっており、保護者 の評価も高い方ではあるが、教職員側の評 価が低くなっている。担任だけでなく、気付い たところで学年、学校全体として礼節につ いての継続的指導の徹底をすべきであると感じ ている。
		進路決定に向け、自ら行動し決断す ることを促し、校内活動の中心的 原動力であることを自覚するよう指導す る。	進路決定に向け、自ら行動し決断することが できたと答えた生徒の割合と、校内活動に積極 的に関わり3年生として取り組もうとした生徒の 割合。	A 80%以上	B 70%以上	C 70%未 満	A (平均値) 教職員 86.3%A 生徒 82.7%A	進路決定できない生徒が多数出た学年であ り、一人一人の進路意識の啓発を根気強く 続けているところである。3年生として体育 祭、翔陽祭に積極的に関わっていた部分も あるが、社会に出る意識の向上を図る必要 を感じている。